

## 三菱換気空清機 **クリーンロスナイ**®

### 壁埋込専用角穴取付ロスナイ

形名

VL-130EK2 (壁スイッチ専用タイプ)

VL-130K2 (引きひも専用タイプ)

VL-150KP2 (農事用・壁スイッチ専用タイプ)

## 据付説明書

販売店・工事店様用


- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前にこの据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。(お客様ご自身で据付けしないでください)
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(無資格者の電気工事は法律で禁止されています)

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡ししてください。

## 安全のために必ず守ること





誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 <b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
---	---



 禁止	 風呂・シャワー室での使用禁止
 分解禁止	 指示に従い必ず行う
 水ぬれ禁止	

### 警告



	●高温となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない (火災の原因)
	●改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因)
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (火災や感電の原因)
	●浴室など湿気の多いところには本体および壁スイッチを据付けない (感電・漏電の原因)

# 安全のために必ず守ること つづき

## 警告

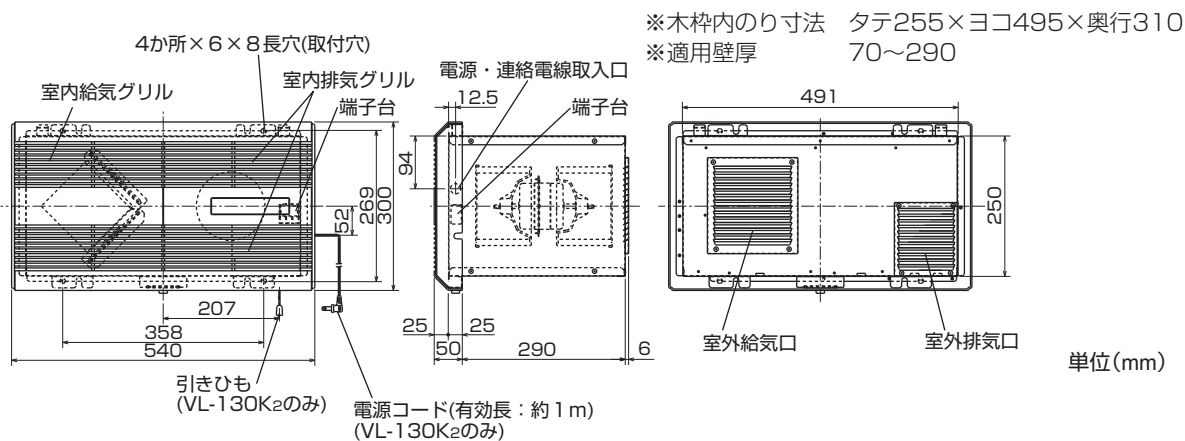
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因）</li> <li>● 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ（新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因）</li> <li>● 据付けは十分強度のある（防虫・防腐効果を含む）ところを選んで確実に行う（落下によるけがの原因）</li> <li>● 端子台接続部のある機種は指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続に不備があると火災の原因）</li> <li>● 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実にを行う（接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因）</li> <li>● 据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか電源プラグをコンセントから抜く（絶縁劣化による感電や漏電火災の原因）</li> <li>● 端子台カバーは電気工事後必ず据付ける（ほこり・湿気などの浸入による漏電・火災の原因）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アースを確実に取付ける（故障と漏電のときに感電する原因）（VL-150KP2のみ）</li> </ul>

## 注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 壁据付け専用です。天井には据付けない（落下によるけがの原因）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 据付けの際は手袋を着用する（けがの原因）</li> <li>● ドレン排出は、据付説明書に従って確実にを行う（水漏れによる感電・火災や家財等を濡らす原因）</li> <li>● 雨水のかかるところへ据付ける場合は、専用のシステム部材のウェザーカバーを取付ける（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）</li> <li>● 下記の使用条件を超える地域・場所には据付けない                  外気温度：-5~40℃（準寒冷地・温暖地仕様）、-10~40℃（寒冷地仕様）                  本体周囲および還気温湿度：0℃~40℃、相対湿度80%以下かつ最低外気温度条件（-5℃）にて露点温度7.9℃（20℃、相対湿度45%相当）となる絶対湿度以下                  使用条件を超えた場合、結露水が滴下することがあります。</li> </ul>

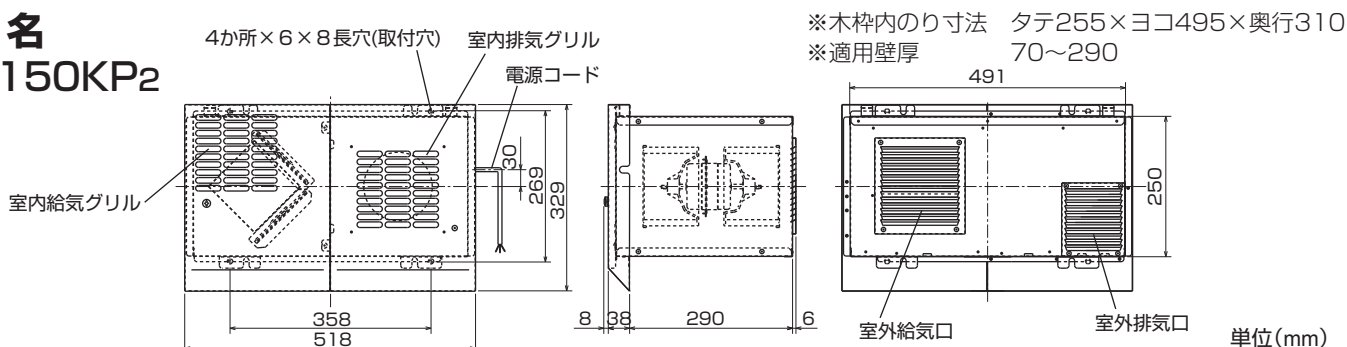
# 外形寸法図

形名  
VL-130EK2  
VL-130K2



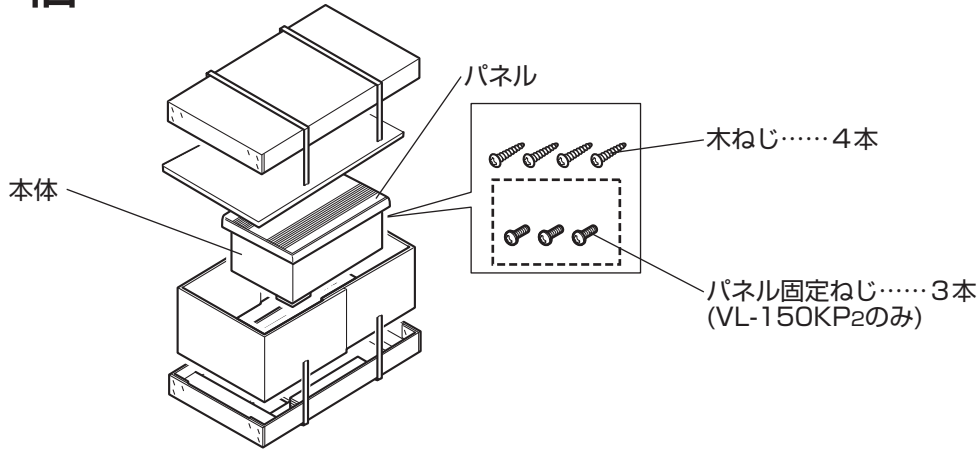
## 農事用

形名  
VL-150KP2

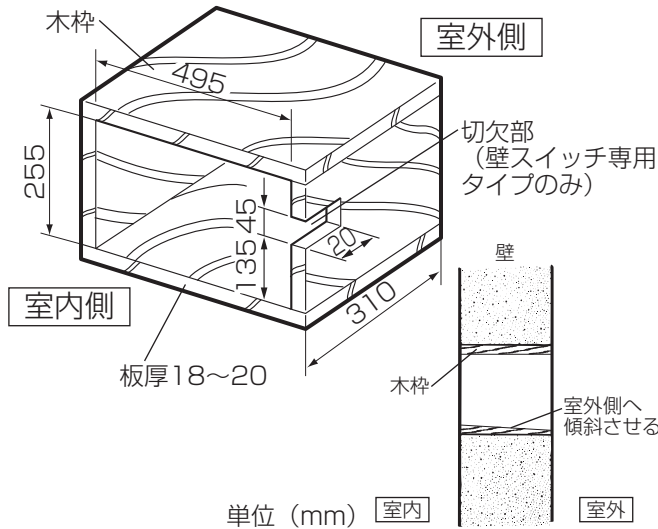


# 据付方法

## 開 梱



## 壁穴工事



### 木枠の準備

1. 左図の寸法の木枠を作る (防虫・防腐効果があるもの)
  - システム部材(W-1502)を使用すると便利です。

#### 《VL-130EK<sub>2</sub>の場合》

- 電源・連絡電線を本体内部に引き込む、切欠を設ける。
2. 木枠の下面を左図のように室外側へ傾斜させる (雨水の浸入を防止する)

#### お願い

- 防火ダンパー付ウェザーカバーをご使用の場合は木枠はご使用できません。

### 壁穴開け・木枠の固定

1. 木枠の外形寸法で壁穴を開ける
  - 天井、壁から73mm以上離す。  
(パネルが取付けできません)
2. 木枠を固定する
3. 木枠の内側コーナー(4か所)にコーキング材を塗布する (雨水の浸入を防止する)

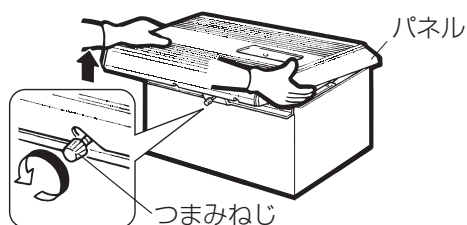
#### 《VL-130EK<sub>2</sub>の場合》

- 切欠部から電源・連絡電線を引き出す。

#### お願い

- 冷暖房機の風が直接あたらない位置に取付けてください。

## 本体の据付け

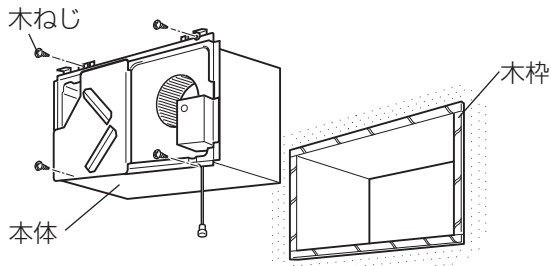


### パネルの取りはずし

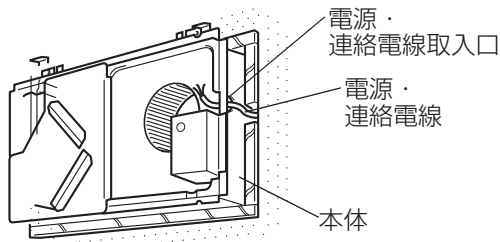
1. つまみねじをゆるめる
2. 手前に引き上げてはずす

# 据付方法 つづき

2



## VL-130EK<sub>2</sub>の場合



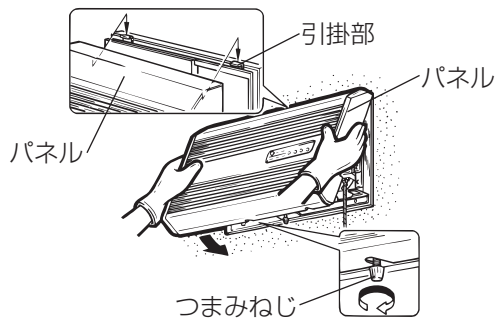
## 本体の据付け

1. 本体を木枠に押し込む
2. 木ねじ4本で固定する

■ 本体右側にある電源・連絡電線取入口に電源・連絡電線を通し本体内側へ引き込む。

3

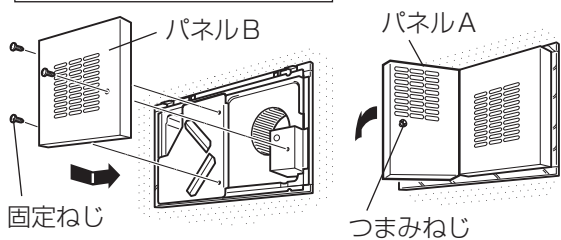
## VL-130K<sub>2</sub>・130EK<sub>2</sub>の場合



## パネルの取付け

1. 下側のつまみねじをゆるめる
2. 本体上部の引掛部にパネルを引掛ける
3. 下側のつまみねじを締付ける

## VL-150KP<sub>2</sub>の場合



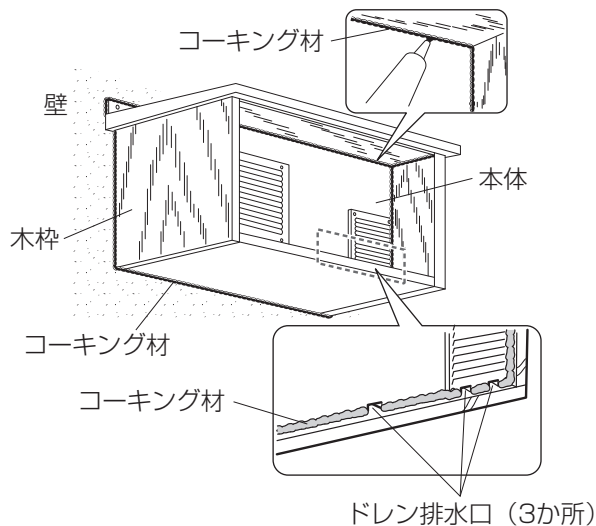
## パネルBの取付け

固定ねじ3本で取付ける

## パネルAの取付け

1. パネルAのツメをパネルBの引掛穴に引掛ける
2. つまみねじで固定する

4



## 雨水浸入の防止

室外側より木枠と本体のすき間全周に市販のコーキング材を塗る

### お願い

- 本体のドレン水排出口 (3か所) はコーキングしないでください。

## 室外側工事

システム部材のウェザーカバーを取付けてください。  
据付方法はウェザーカバーに付属の据付説明書を参照してください。

## 電気工事

### 警告

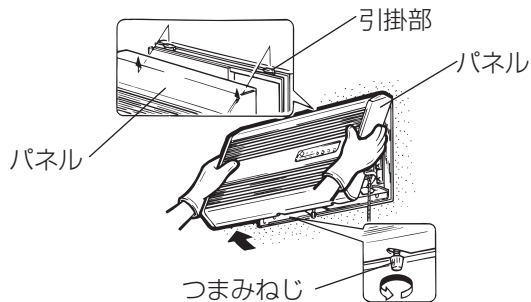
- 交流100Vを使用する 直流や交流200Vを使用すると感電の原因
- 端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する  
接続に不備があると火災の原因
- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因
- アースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電する原因（VL-150KP<sub>2</sub>のみ）

### 壁スイッチ専用タイプの場合

- 電源の接続、電気工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。
- 運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを用意してください。

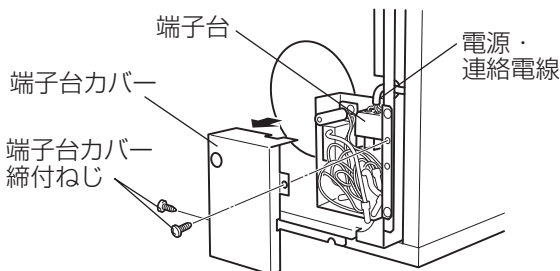
●コントロールスイッチの取付けはコントロールスイッチに同梱の据付説明書に従ってください。

#### VL-130EK<sub>2</sub>の場合



#### パネルをはずす

1. つまみねじをゆるめる
2. パネルを上へ持ち上げながら、手前に引いて取りはずす



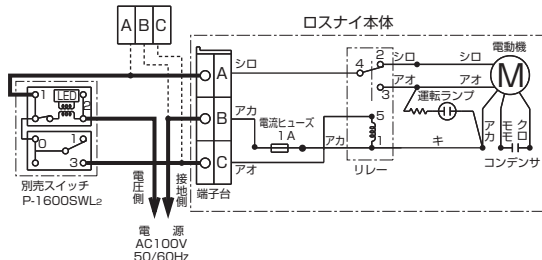
#### 端子台カバーをはずす

### 100V専用・誤結線注意

#### VL-130EK<sub>2</sub>の場合

#### ■結線図

※太線・破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。



#### 結線をする

- 結線図のとおり端子台に結線をする。  
(適用電線：VVケーブル単線φ1.6、φ2.0)

#### ■お願い

- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
- 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品(医療機器含む)に電波傷害が生じる可能性がありますので、必ず結線図に従ってください。

#### ■複数台運転について

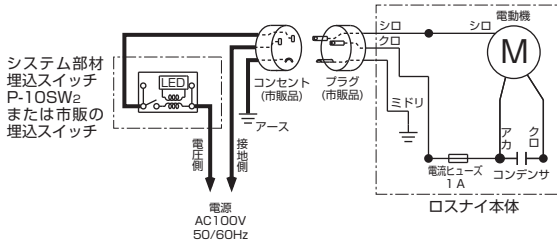
システム部材のコントロールスイッチ1個で同時に5台の複数台運転ができます。

# 据付方法 つづき

3

100V専用

VL-150KP<sub>2</sub>の場合 (結線例)

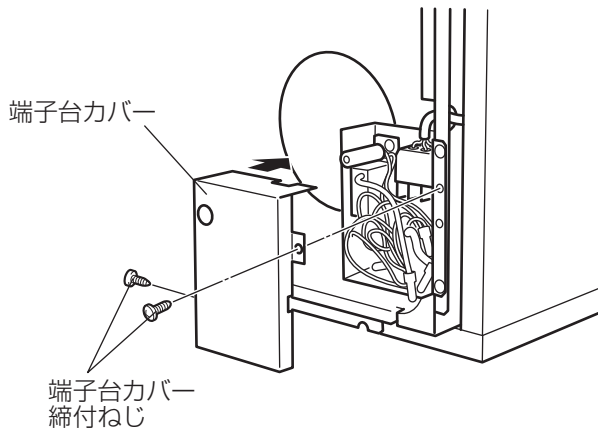


- プラグ・コンセント(市販品)を使わず、直接電源、スイッチに接続することもできます。
- 複数台運転はできません。
- システム部材の速度調節器と接続する場合は、下表の制御台数を参考に接続してください。(接続方法は速度調節器に付属の据付説明書をお読みください)

周波数 (Hz)	制御台数	
	速度調節器形名	
	FS-2TB <sub>1</sub>	FS-5TA <sub>3</sub>
50	1	8
60	1	8

4

VL-130EK<sub>2</sub>の場合



元通りに端子台カバーを取付ける

お願い

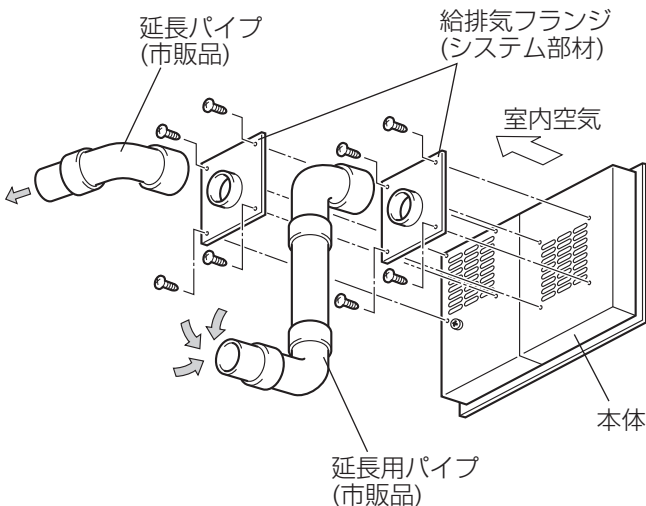
- 電源・連絡電線を引っぱって端子台に引張り力がかからないように端子カバーを取付けてください。(接触不良の原因)

5

パネルの取付け

4ページを(3)パネルの取付け)参照して元通り取付ける

室内空気の循環効果を上げたい場合・給気風を直接前方に出さない場合



お願い

- 室内外の空気条件によっては、パネルに付着した結露水が給気風によって飛散して葉が枯れたりする場合があります。延長配管をして結露水の飛散を防止してください。

システム部材の給排気フランジを利用し、市販の延長用パイプを取付けて使用してください。

延長用パイプ

ダクト径	φ100(4番管)
ダクト種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塩化ビニル管</li> <li>●アルミフレキシブルダクト</li> <li>●鋼板管</li> </ul>

6

# 据付け後の確認と試運転

## 据付け後の確認

- 据付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。  
(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事店（電気工事士）が安全・確実に行う</li> <li>接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因</li> </ul>
-----------	--

## チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
据付け	本体の据付強度は十分ですか？	補強します	
	パネルが確実に取付けられていますか？	パネルを取付け直します	
	コーキングはしましたか？ (木枠、室外側)	コーキングをします (雨水が浸入します)	
	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	
試運転	(VL-130EK <sub>2</sub> の場合) スイッチの操作と本体動作は合っていますか？	誤結線です 結線図に従って結線を直します (本体は破損しません。電圧チェック表で確認します)	
	(引きひもスイッチタイプの場合) 引きひもを引いて動作を確認しましたか？	引きひものからみなどを直します	
	羽根当り音がしていませんか？	パネルをはずしてゴミなどを取り除く (見える範囲のみ)	

## 電圧チェック表(VL-130EK<sub>2</sub>)

モード	スイッチ操作	端子間電圧	チェック欄
停止	切	A-B 0V	
	強	A-C 0V	
		B-C 0V	
「強」運転	入	A-B 100V	
	強	A-C 100V	
		B-C 0V	
「弱」運転	入	A-B 100V	
	弱	A-C 0V	
		B-C 100V	

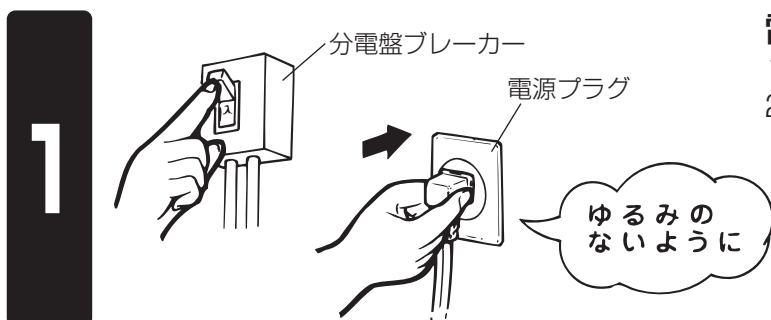
●測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されていると考えられます。通電を停止して、結線図に基づき配線をやり直し、再度チェックをしてください。

※端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

## 試運転

- できるかぎりお客様立合いで、試運転を行ってください。

<b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交流100Vを使用する</li> <li>直流や交流200Vを使用すると感電の原因</li> </ul>
-----------	--



### 電源を入れる

- 1.分電盤ブレーカーを入れる
- 2.電源プラグをコンセントに差し込む  
(電源プラグ付きのみ)

### 運転状態を確認する

- 1.コントロールスイッチで運転操作をする
- 2.スイッチ指示に合わせ正常に運転するか確認する

**VL-130EK2の場合**…システム部材のコントロールスイッチ (P-1600SWL<sub>2</sub>)

運転スイッチ ランプ  
風量切換スイッチ

運転開始 ●右側を押す  
運転停止 ●左側を押す  
強運転 ●右側を押す  
弱運転 ●左側を押す

ランプ点灯 ランプ消灯

**VL-130K2の場合**

運転ランプ引きひも

「強」運転 (運転ランプ点灯) 「弱」運転 (運転ランプ点灯) 「停止」 (運転ランプ消灯)

**VL-150KP2の場合**…システム部材のコントロールスイッチ (P-10SW<sub>2</sub>)

運転スイッチ ランプ

運転開始 ●右側を押す  
運転停止 ●左側を押す

ランプ点灯 ランプ消灯

3

### 異常な振動・騒音がないか確認する

- 確認後停止する。

4



### 電源を切る

- 1.電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグ付きのみ)
- 2.分電盤ブレーカーを切る

## お客様への説明

- 分電盤ブレーカーとコントロールスイッチの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へお渡しください。
- お客様が不在の場合は、発注者 (オーナーなど) または、管理者へ説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。